

ロシア 東欧 経済速報

発行人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1年-18,000円]

1997年(平成9年)10月5日 No. 1070

目次

多国間共同事業に向かうイルクーツク・ガス田開発	中居孝文	1
キーパーソン		8
われらの家ロシアで「お家騒動」	/ 8	
国防会議の書記、経済派に交代	/ 9	
統計速報		9
1997年1~6月のロシアの外国投資受入状況	/ 9	
1997年1~8月のロシア経済	/ 11	
データフラッシュ	/ 12	
ホームページ拝見(5) ヴォルガ自動車工場(VAZ)		12
CIS諸国通貨の最新為替レート		12

多国間共同事業に向かうイルクーツク・ガス田開発

はじめに

現在、ロシアのイルクーツク州ではルシア・ペトロリアム社が開発権をもつコヴィクタ鉱床の開発と輸出向けガスパイプライン建設計画が実現化に向けて始動しつつある。

後述するように、このプロジェクトは多国間の共同事業として展開する見通しが濃厚になり、すでに中国と韓国が参加を表明している。日本に対しても、今年6月に開催された日ロ政府間委員会や橋本首相宛のエリツィン親書でロシア側から同プロジェクトへの協力要請があったことから、政府および民間レベルで参加の可能性が検討されている。

もし、コヴィクタ鉱床開発プロジェクトへの日本の参加が決まれば、ロシアで日本の参加する共同資源開発としてはサハリンに次ぐ大事業となり、その成り行きは大いに注目される。

本稿では、コヴィクタ鉱床開発プロジェクトの経緯と概要、同プロジェクトに対する中国、韓国、日本のアプローチを紹介する。

1. ルシア・ペトロリアムとシダンコ

ルシア・ペトロリアムの設立 コヴィクタ(Kovykta) 鉱床はソ連時代の1987年に発見されたガスおよびガスコンデンサート鉱床で、イルクーツク市の北東350kmに位置する。

1990年10月に同鉱床開発のためにイルクーツク州執行委員会(後に行政府)の参加のもとで